

倶多楽の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴煙及び熱活動（図 2～7）

日和山の噴煙の高さは火口縁上 50m 以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

2007 年 5 月 3 日から大正地獄で発生している泥混じりの熱湯の噴出は、その後も消長を繰り返しながら継続しています（登別市による）。この現象は局所的なものであり、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられます。

5 日に室蘭地方気象台が行った現地調査では、日和山では活発な噴気活動が続いていました。噴気温度は 133℃で前回（2010 年 4 月：142℃）と比べ大きな変化はありませんでした。その他、大湯沼、地獄谷等の噴気や地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

・ 地震活動（図 7、表 1）

今期間、火山性地震や火山性微動は観測されませんでした。

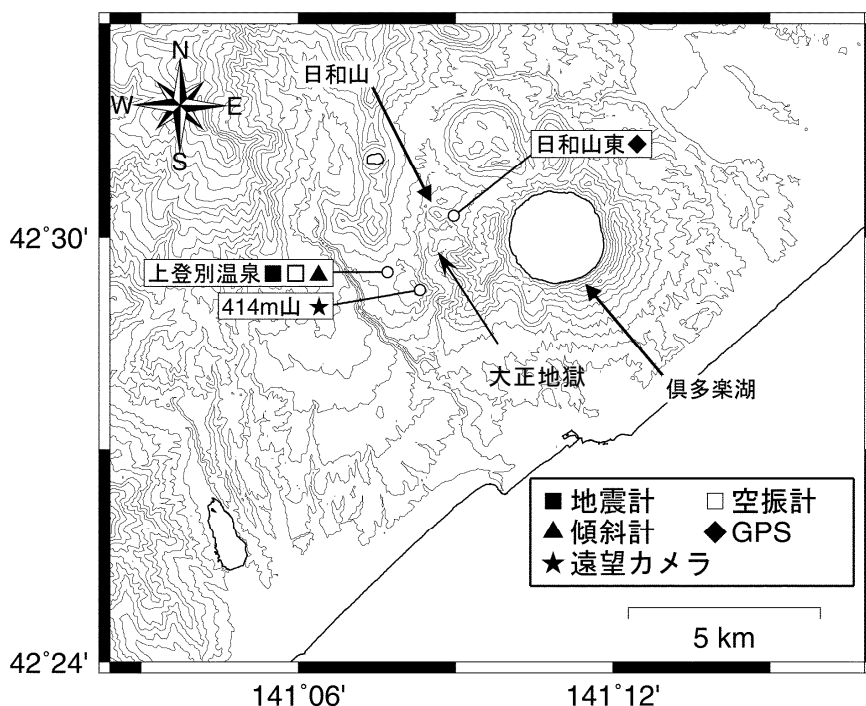


図1 倶多楽 観測点配置図

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月分）は平成 23 年 1 月 7 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 20 業複、第 647 号）。



図2 倶多楽 火口周辺図



図3 倶多楽 日和山爆裂火口の状況
11月5日 図2の①方向から撮影



図4 倶多楽 大湯沼の状況
11月5日 図2の②方向から撮影



図5 倶多楽 大正地獄の状況
11月5日 図2の③方向から撮影



図6 倶多楽 地獄谷の状況
11月5日 図2の④方向から撮影

表 1 倶多楽 地震・微動の月回数

2009～2010年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0
微動回数	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0

*地震観測点上登別は障害のため2009年9月5日から欠測、2010年8月31日で廃止。
2010年9月1日から上登別温泉で計数開始。

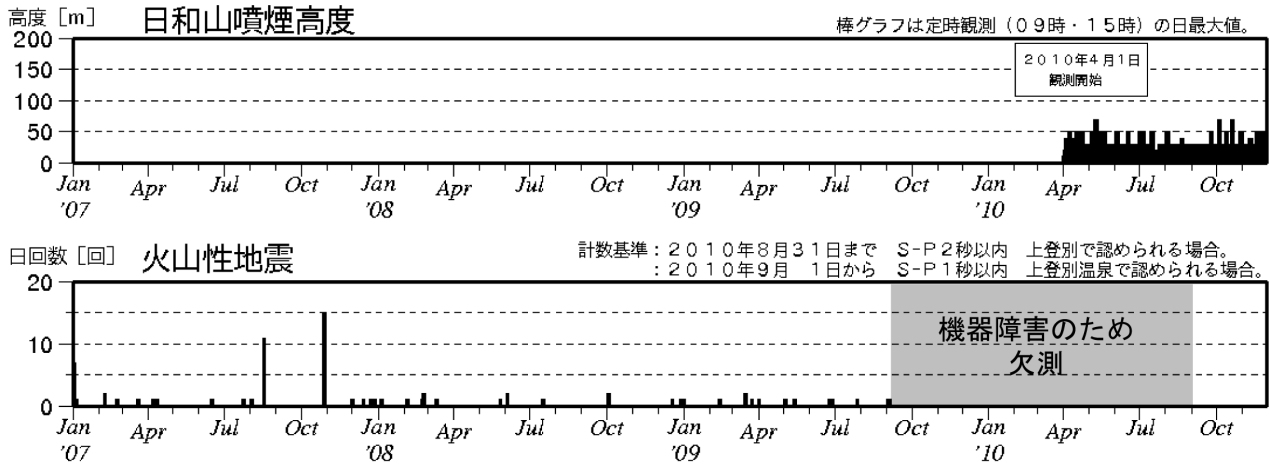


図 7 倶多楽 最近の火山活動経過図 (2007年1月～2010年11月)

図の灰色の期間は欠測